研究テーマの決定①

|  |
| --- |
| ■月のオリエンテーションでは、教授や先輩の講義を聞くとともに、課題研究とは何かを振り返った。そして前回、各自が興味のある研究テーマや分野をもとに、課題研究グループを構成した。  本時は、長期にわたる課題研究の第一歩となる。まずはグループにおいて、これからどのような研究を行っていくのかを整理しよう。そのうえで、関連する情報を集め、分析し、研究テーマを確立していこう。「SDGsアイデア提案」で行った作業を思い出し、効率的に進めてほしい。 |

■研究テーマ（前回提出したもの）

|  |
| --- |
|  |

■選んだ項目に関する情報を集める（*cf*.メソッドpp.35-39）

興味のある項目について、現在、社会や学術でどのような課題があるのかを知る必要がある。身近にある情報源を活用し、課題をとらえていこう。また、自分が知りたい情報にたどり着く力、より正確な情報を集める力など、課題研究や将来の仕事で重要となる情報収集力を養っていこう。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 利点 | 気をつけるべき点 | 探し方・入手場所 |
| 新聞 | ・図書館などを利用すれば，昔の資料を閲覧することができる。  ・新聞の地域欄は，地域の課題について情報を集めやすい。 | ・特定のテーマについて体系的に学ぶには適さない。  ・同じトピックでも新聞社によって書き方が異なるため，比較が必要。 | ・図書館  ・新聞社のウェブサイト |
| インターネットニュース | ・最新の情報を得ることができる。  ・知りたい情報に比較的安易にアクセスできる。 | ・一定期間の公開後は消えてしまう。  ・匿名性の高い情報は研究用の文献として適さない。 | ・検索エンジンサービス  ・ニュースサイト |
| 本・雑誌 | ・特定のテーマに関して体系的に学ぶことができる。  ・身近に手に入りやすい。 | ・引用・参考文献などを含まない本や雑誌は，信ぴょう性に欠ける場合がある。 | ・図書館  ・書店 |
| 学術書・学術論文 | ・あるテーマについて専門的な知識を得ることができる。  ・最先端の研究について知ることができる。 | ・内容が高度で利用しづらいものもある。 | ・Google Scholar  ・CiNii  ・Webcat Plus  ・大学の図書館 |

情報は「疑問を持ち」「批判的に」読むことが大切である。書かれていることに対し「この用語は何だろう」「なぜこうなったのだろう」「この意見は自分と違う」「こういう見方もあるのでは」と探ることが、課題を見つけるきっかけとなる。ちなみに、普段の授業や学習でも、このように考えながら取り組むことで、理解が深まり、広がっていく。

■情報を記録する（*cf*.メソッドpp.40-41）

集めた情報は、漏れなく記録しておくとよい。自分自身が行ったことを振り返り、情報を再確認する際に有効である。また、レポートにおいて参考文献をまとめる際に役に立つ。

今回は作業の効率化を重視して、情報をGoogle スプレッドシート にてリスト化することにする。SS課題探究ⅠのClassroom にファイル「SS情報リスト」をアップするので、活用すること。

ファイルには「スクラップブック」と「キーワードリスト」のシートが用意されている。調べたことはこまめに記録していこう。電子媒体の特徴（文章やURLのコピー、図や写真の貼り付け、リンクなど）をいかし、効率的に作業すること。

＜スクラップブック＞情報を集める際に調べた新聞やニュースについてまとめたリスト

|  |
| --- |
| 作者・作成組織　／　作成年　／　タイトル　／　出典　／　概要　／　キーワード |

※新聞の切り抜きや本のコピーなどがあれば、セットで保管しておく。

＜キーワードリスト＞集めた情報に関するキーワードを抜き出し、その意味や定義をまとめたリスト

|  |
| --- |
| キーワード　／　意味・定義　／　出典 |

※必要に応じて「ロジックツリー」や「キーワードマッピング」を作成して理解を深める。

■研究テーマの決定（*cf*.メソッドp.47）

これまで調べ，理解を深めた内容から，取り組む研究テーマを決める。その際、改めて「課題研究とは何か」を確認し、決定した研究テーマと照らし合わせてほしい。

|  |
| --- |
| 研究テーマ |
| 概要 |

課題研究とは、①先人たちが行った研究の諸業績をふまえたうえで、**社会・学術の諸問題から**自分が取り組むべき課題を見いだし、それに対して、②客観的なデータをもとにしつつ、③自分自身の考察やアイデアなどで新たな知見を創造、探究し、④他者と共有することで、**課題解決に貢献する**こと（課題探究メソッドより抜粋）

■今後の予定（１学年次）

|  |  |
| --- | --- |
| ■月■日（■） | 情報の収集、研究テーマ決め |
| 冬休み宿題 | 研究テーマの決定、リサーチクエスチョンの提示 |
| ■月■日（■）、■日（■）、■日（■） | リサーチクエスチョンの深化、ポスター作成 |
| ■月■日（■） | ポスター提出 |
| ■月■日（■） | ポスターセッション（発表） |